

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <https://www.tsukada-global.holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 (TEL) 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	13,126	11.3	△5,518	—	△5,007	—	△4,452	—
2020年12月期第2四半期	11,793	△59.4	△7,740	—	△8,186	—	△6,719	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 △4,297百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △6,856百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△93.34	—
2020年12月期第2四半期	△140.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	93,807	22,140	23.4
2020年12月期	99,814	26,437	26.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 21,956百万円 2020年12月期 26,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	40.1	△2,900	—	△2,610	—	△2,510	—	△52.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	48,960,000株	2020年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,259,834株	2020年12月期	1,259,834株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	47,700,166株	2020年12月期2Q	47,700,166株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(施行及び受注の状況)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大が経済活動及び雇用情勢に大きく影響し、また足元では4回目の緊急事態宣言が発出されるなど収束の見通しがつかず、いまだ先行き不透明な状況で推移しております。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場及びウェルネス&リラクゼーション(W&R)市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供及び新型コロナウイルス感染症には万全の対策で取り組んでまいりましたが、継続する渡航制限、政府要請による外出控え・時短営業等の影響によるホテル宿泊・レストラン利用客の減少、婚礼施行の延期、フィットネス会員数においては休会からの復会の伸び悩みと全セグメントにおいて多大な影響を受けております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、13,126百万円(前年同四半期比11.3%増)となり、利益面につきましては、営業損失5,518百万円(前年同四半期は営業損失7,740百万円)、経常損失5,007百万円(同 経常損失8,186百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失4,452百万円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失6,719百万円)と底打ち感はあるものの、引き続き大幅な損失の計上となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第2四半期連結累計期間においては、収束時期の見通しがつかない中で婚礼施行件数が2,817件(前年同四半期比31.6%増)と継続する新型コロナ禍において売上高については底打ち感があるものの、利益面については、引き続き婚礼コンテンツの内製化を推進し効率化を図りましたが、売上高の停滞及び1組当たり平均ゲスト数の減少により売上総利益率が低下したことから損失となりました。

この結果、当セグメントの売上高は7,942百万円(前年同四半期比10.9%増)、セグメント損失は1,793百万円(前年同四半期はセグメント損失3,464百万円)となりました。

② ホテル事業

当第2四半期連結累計期間においては、昨年に引き続き海外からの渡航制限の影響により宿泊・レストラン利用客や法人宴会需要が停滞しておりますが、ホテル婚礼においては施行組数が510件(前年同四半期比80.2%増)と売上高は微増となり、利益面につきましては効率的な人員配置・シフト管理などコストコントロールを図りましたが損失となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3,869百万円(前年同四半期比10.8%増)、セグメント損失は2,729百万円(前年同四半期はセグメント損失2,863百万円)となりました。

③ W&R事業

当第2四半期連結累計期間においては、英国式リフレクソロジーサロン「クイーンズウェイ」については、一部に政府及び各自治体からの休業要請等に応じた店舗もありましたが、集客については総じて平時に戻りつつあります。また、総合フィットネスクラブ「BEST STYLE FITNESS」においては会員数の戻りが遅れておりますが当セグメント売上高は増加し、利益面では損失となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,314百万円(前年同四半期比15.3%増)、セグメント損失は283百万円(前年同四半期はセグメント損失538百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ6,006百万円減少して、93,807百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により現金及び預金が3,790百万円及び減価償却により有形固定資産が1,191百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ1,709百万円減少して、71,666百万円となりました。これは主に、前受金が569百万円増加しましたが、長期借入金（1年内返済予定含む）が1,984百万円及び社債（1年内償還予定含む）が387百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ4,297百万円減少して、22,140百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が4,452百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ3,790百万円減少し、18,412百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1,915百万円（前年同四半期は9,471百万円の使用）となりました。これは主に、減価償却費が1,833百万円及び未払又は未収消費税等の増減額が1,008百万円ありましたが、税金等調整前四半期純損失が5,033百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は305百万円（前年同四半期は6,666百万円の使用）となりました。これは主に、設備改装による有形固定資産の取得による支出が385百万円となりましたが、敷金及び保証金の回収による収入が642百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2,205百万円（前年同四半期は5,773百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が1,994百万円及び社債の償還による支出が387百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び進捗状況等を勘案し、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、2021年8月6日付で公表しております「2021年12月期 第2四半期及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,291	18,500
売掛金	816	561
有価証券	1,471	1,567
商品	107	96
原材料及び貯蔵品	481	444
その他	2,289	1,312
貸倒引当金	△30	△32
流動資産合計	27,427	22,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,128	33,954
土地	11,929	12,139
建設仮勘定	505	557
その他(純額)	2,247	1,968
有形固定資産合計	49,811	48,620
無形固定資産		
のれん	2,076	1,904
その他	641	617
無形固定資産合計	2,717	2,521
投資その他の資産		
投資有価証券	4,665	4,699
敷金及び保証金	8,156	7,480
その他	6,976	7,891
貸倒引当金	△99	△104
投資その他の資産合計	19,700	19,967
固定資産合計	72,229	71,108
繰延資産	156	247
資産合計	99,814	93,807

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,283	1,070
短期借入金	1,789	2,061
1年内返済予定の長期借入金	3,985	7,909
1年内償還予定の社債	774	724
未払法人税等	32	348
前受金	2,940	3,510
店舗閉鎖損失引当金	275	109
資産除去債務	445	418
その他	5,675	5,553
流動負債合計	17,201	21,705
固定負債		
社債	6,947	6,610
長期借入金	42,237	36,328
退職給付に係る負債	393	408
役員退職慰労引当金	872	893
資産除去債務	4,498	4,513
その他	1,224	1,206
固定負債合計	56,174	49,961
負債合計	73,376	71,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	27,070	22,618
自己株式	△892	△892
株主資本合計	27,284	22,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43	△47
繰延ヘッジ損益	△585	△636
為替換算調整勘定	△382	△183
退職給付に係る調整累計額	△7	△8
その他の包括利益累計額合計	△1,018	△875
非支配株主持分	171	183
純資産合計	26,437	22,140
負債純資産合計	99,814	93,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	11,793	13,126
売上原価	12,554	12,672
売上総利益又は売上総損失(△)	△760	454
販売費及び一般管理費	6,979	5,972
営業損失(△)	△7,740	△5,518
営業外収益		
受取利息	86	58
匿名組合投資利益	73	94
助成金収入	16	371
為替差益	—	298
その他	61	113
営業外収益合計	237	936
営業外費用		
支払利息	363	229
有価証券運用損	162	—
持分法による投資損失	32	100
為替差損	76	—
その他	48	95
営業外費用合計	683	425
経常損失(△)	△8,186	△5,007
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	64	—
特別利益合計	64	0
特別損失		
固定資産除却損	6	24
店舗閉鎖損失	41	1
投資有価証券評価損	145	—
関係会社株式評価損	110	—
貸倒引当金繰入額	27	—
その他	134	—
特別損失合計	465	26
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,587	△5,033
法人税等	△1,868	△581
四半期純損失(△)	△6,719	△4,452
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,719	△4,452

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△6,719	△4,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△4
繰延ヘッジ損益	△28	△51
為替換算調整勘定	△45	108
退職給付に係る調整額	0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	102
その他の包括利益合計	△136	154
四半期包括利益	△6,856	△4,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,856	△4,309
非支配株主に係る四半期包括利益	—	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,587	△5,033
減価償却費	1,576	1,833
減損損失	54	—
のれん償却額	135	171
社債発行費償却	8	19
固定資産除却損	6	24
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	20	20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24	11
受取利息及び受取配当金	△102	△58
支払利息	363	229
持分法による投資損益(△は益)	32	100
有価証券運用損益(△は益)	162	△40
投資有価証券売却損益(△は益)	△64	—
投資有価証券評価損益(△は益)	145	—
関係会社株式評価損	110	—
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
店舗閉鎖損失	41	1
デリバティブ評価損益(△は益)	△0	—
匿名組合投資損益(△は益)	△73	△94
為替差損益(△は益)	97	△263
売上債権の増減額(△は増加)	872	255
たな卸資産の増減額(△は増加)	18	48
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,037	△215
前受金の増減額(△は減少)	709	567
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,171	△334
未払又は未収消費税等の増減額	△1,293	1,008
その他	974	4
小計	△7,946	△1,739
利息及び配当金の受取額	93	56
利息の支払額	△365	△226
法人税等の支払額	△1,253	△7
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,471	△1,915

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,507	△385
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△482	△14
投資有価証券の売却による収入	215	191
関係会社株式の取得による支出	—	△52
匿名組合出資金の払戻による収入	36	—
貸付けによる支出	△35	—
敷金及び保証金の差入による支出	△5	△26
敷金及び保証金の回収による収入	137	642
その他	△26	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,666	305
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	852	279
長期借入れによる収入	8,300	—
長期借入金の返済による支出	△2,806	△1,994
社債の償還による支出	△334	△387
配当金の支払額	△238	△0
その他	—	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,773	△2,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,382	△3,790
現金及び現金同等物の期首残高	28,259	22,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,876	18,412

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

当第1四半期報告書の(追加情報)におきまして、新型コロナウイルス感染症の影響については、ワクチン接種が普及すると見込まれる本年後半ごろから徐々に、婚礼事業においては集客数・受注数が、また、ホテル事業においては宿泊稼働率が回復することを前提としておりました。ワクチン接種率は現時点で40%を超えており、政府方針から今後も増加傾向にあると見込んでおりますが、今なお新規感染者数の増加に歯止めがかからず4回目の緊急事態宣言が発出されるなどさらに長期化しております。当該不安定な状況は当連結会計年度末ごろまで継続するとの前提に変更し、繰延税金資産の回収可能性の判断、固定資産の減損判定等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、更なる感染拡大により社会活動及び経済活動が停滞する事態となった場合、当連結会計年度の当社グループの財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,160	3,492	1,139	11,793	—	11,793
セグメント間の 内部売上高又は振替高	324	72	5	402	△402	—
計	7,485	3,565	1,144	12,196	△402	11,793
セグメント損失(△)	△3,464	△2,863	△538	△6,866	△873	△7,740

(注) 1. セグメント損失の調整額△873百万円には、セグメント間取引消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△930百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「婚礼事業」セグメントの一部の固定資産において収益性が低下した状態が続いており、当第2四半期連結累計期間において投資の回収が見込めないと判断したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額54百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,942	3,869	1,314	13,126	—	13,126
セグメント間の 内部売上高又は振替高	630	116	17	764	△764	—
計	8,573	3,985	1,331	13,890	△764	13,126
セグメント損失(△)	△1,793	△2,729	△283	△4,806	△711	△5,518

(注) 1. セグメント損失の調整額△711百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△722百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(施行及び受注の状況)

(1) 婚礼施行実績

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	2,141	2,817	5,044
ホテル事業	283	510	717
合計	2,424	3,327	5,761

(2) 婚礼受注状況

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)		前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)
セグメントの名称						
婚礼事業	2,453	6,830	3,625	7,146	4,864	6,338
ホテル事業	459	1,207	661	1,329	864	1,178
合計	2,912	8,037	4,286	8,475	5,728	7,516